

(仮称)北九州市産業振興未来戦略の策定について

1 戦略策定の意義

- (1) 北九州市の経済を再起動させていくため、まずデータ分析に基づき、本市の産業に関する現状や課題を把握し、今後の産業振興のあり方を議論
- (2) 未来に向けて成長していくためには、これまでと異なる新たな発想が重要であり、時代の流れや世界の動きに合わせた産業政策の変革が必要
- (3) その指針として、産業の未来のビジョンを示す新たな産業振興戦略を策定

2 戦略策定までの進め方

(1) 客観的な指標やデータの分析

- ・基礎データの分析（人口、市内総生産、産業動向、労働生産性、所得、雇用など）
- ・未来産業（次世代自動車、半導体、宇宙など）のポテンシャル調査など

(2) 外部の有識者から専門的な知見に基づく意見の聴取

- ・有識者会議（未来産業創造会議）（別紙1、2）
⇒地元企業、成長分野の企業、経済・金融専門家、商工会議所、スタートアップなど第一線で活躍する有識者から意見を聴取
⇒その下に、「未来産業、誘致・物流、スタートアップ」「中小企業振興」「商業・サービス産業、観光・MICE」「人材確保・育成」の4つのワーキンググループを設置し、より専門的な議論を行う予定

3 今後のスケジュール（案）

- (1) 第1回未来産業創造会議（R5年7月28日（金））
- (2) 第2回未来産業創造会議（R5年11月初旬頃）
 - ・ワーキンググループを設置
- (3) 第3回未来産業創造会議（R5年12月下旬頃）
 - ・戦略素案の提示
- (4) パブリックコメント（R6年2月頃）
- (5) 戦略策定（R6年3月頃）

※随時、常任委員会に報告予定

(仮称) 北九州市産業振興未来戦略の検討フレーム

北九州市未来産業創造会議

【検討委員会】

- ・ 協議内容：北九州市の目指すべき姿、ポテンシャル、重点施策 等
- ・ 役割：幅広く自由に意見交換
- ・ メンバー：有識者
(地元企業、成長分野の企業、経済・金融専門家、商工会議所 等)
- ・ 回数：3回程度

個別検討 & 取組案

WG

未来産業 (次世代自動車、半導体、宇宙等)
誘致・物流、スタートアップ

WG

中小企業振興

WG

商業・サービス産業
観光・MICE (ホテル誘致含む)

WG

人材確保・育成

北九州市未来産業創造会議 構成員

	氏名	所属・役職	分野
1	小笠原 浩	株式会社安川電機 代表取締役会長	産業関係
2	田中 亮一郎	北九州商工会議所 副会頭 (第一交通産業株式会社 代表取締役社長)	産業関係 (運輸、観光、福祉等)
3	林 良祐	TOTO株式会社 取締役専務執行役員	産業関係 (製造業)
4	寺山 大右	日本銀行北九州支店 支店長	金融関係
5	松本 茂樹	松本工業株式会社 代表取締役社長CEO	地元中小企業
6	上田 康弘	株式会社日本マイクロニクス 社外取締役	半導体
7	秦 孝之	日産自動車株式会社 専務執行役員 (北九州市顧問)	次世代自動車、誘致
8	永崎 将利	Space BD株式会社 代表取締役社長	宇宙
9	下岡 純一郎	株式会社クアンド 代表取締役CEO	地元スタートアップ
10	青木 睦子	ハイツテック株式会社 代表取締役社長	地元スタートアップ
11	川口 千恵子	熱産ヒート株式会社 代表取締役社長	DX、地元中小企業
12	遠藤 直人	株式会社YE DIGITAL 代表取締役会長	DX、デジタル人材育成
13	古長 由里子	日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 九州DXセンター長	DX、デジタル人材育成
14	郷田 郁子	株式会社V I コンサルティング 代表取締役	地元中小企業、 中小企業支援
15	田口 一成	株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役社長	社会起業家
16	都築 明寿香	学校法人都築育英学園 理事長	学校経営